

結城南中の生徒 5 人が看護師体験

結城南中学校の2年生、渡邊実月さん、馬場愛菜さん、石黒成美さん、宮田萌さん、平間陽大君の5人が7月31日と8月1日の2日間、職場体験の一環で、城西病院を訪れ、看護師の体験をしました。

1日目は、午前中は病院内を見学。手術室や救急処置室、MRI、CT、透析センター、城西健診センターなどを見学。手術室では、手術台に寝たり、放射線防護服を着るなどの体験をしました。午後は、回復期リハビリ病棟に行き、車いすや聴診器、血圧測定などを体験したり、点滴の道具などを見たりしました。2日目は、療養病棟で体験。患者さんと話をしたり、患者さんの胃の音を聞いたり、刻み食などの食事を見たり、患者さんの病室のベッドメイキングを手伝ったりしました。

将来医師を目指す平間君は「看護師さんは患者さんに対する幅広い範囲の仕事をしていることが分かった」と話し、看護師を目指す馬場さんは「看護師さんが患者さん第一に考えて仕事をしていることがとても印象的でした」と話していました。医療・福祉の道を目指す石黒さんは「介護に興味を見つけていましたが、患者さんの手助けをして1人でも多くの命を救いたいと頑張っている看護師さんにも興味を持ちました」と話していました。

平成 29 年 8 月 1 日

